

両室ペースメーカー植え込み手技の Tips & Tricks

中川義久(京都大学大学院医学研究科循環器内科)

両室ペースメーカー治療は、従来は薬物治療しかないと考えられてきた心不全治療の現場に画期的な変化をもたらした。この治療法は心臓再同期療法(CRT)とも呼ばれ、実効ある治療法として地位を確立しようとしている。

この治療法の発展と普及の過程は、従来の日本の医学領域の新しい治療法での過程とは少し異なるところがあった。それは、権威づけられてはいないが臨床能力の高い若手医師によって多くの仕事なされたことである。彼らは日常臨床の現場では心不全患者の治療に限界を抱き、その限界を打破したいと望み、かつ虚血性心疾患に対するカテーテル治療の経験からカテーテル操作にも習熟している。さらに不整脈へのアブレーションの知識と徐脈性疾患に対するペースメーカーにも経験豊富であり、そのうえ基本となる心不全への薬物療法も習得している。こういった総合的かつ実践的な高度の臨床能力をもつ者が、いち早く両室ペースメーカー治療のもつポテンシャルを理解し、多くの症例に施術したのである。その結果として、認知・普及の速度が加速した。本書の監修を務める小倉記念病院の延吉正清先生のもとから、編者の安藤献児医師や静田 聡医師の二人をはじめ執筆陣に何人もの人材を輩出していることは、同師の指導が虚血性心疾患だけでなく、広い基盤のうえに教授されていたことを証左しているともいえる。

本書は、その普及の土台となる時期に困難を打開

しながら進んだ若手医師たちが中心となって執筆した書籍である。若手による記述だけではなく、経験と知識が豊富な指導的立場にある者も援護してバランスのよい内容に構成されている。単に基本的な概念の紹介だけではなく、書籍のタイトルにある「手技の Tips & Tricks」が示すように、実践的な手技の詳細やコツも詳しく紹介されている。実際に患者に触れる術者のみが提示できる情報が凝集されているのである。さらに本書では、ライブで実際に植え込み手技を公開中継した際の DVD が付属している。そのなかには、困難な背景をもつ3症例への両室ペースメーカー治療の実技が収録されている。手技に関連することは文章からだけでは本意は伝わりにくい。動画情報を伴うことによって理解は飛躍的に高まるであろう。

本書は、両室ペースメーカー植え込み手技に関して基本的事項の紹介から、具体的手技までわかりやすく記述している。それに加え、前述した DVD により画像からも知識が得られる。両室ペースメーカー植え込み手技にかかわる医師はもちろん、心不全患者に携わる循環器科内科医、昨今は心不全を伴う低心機能例に手術を施行することも多い心臓血管外科医にも必読(DVD は必見か)の書と思われ推薦させていただく。

(B5判 220頁 定価8,400円(本体8,000円+税5%))
2006年 三輪書店 刊